

DXビジョン実現に向けた取り組み

三機工業グループは、マテリアリティの一つに掲げる「働く仲間の幸福の追求」に向けて、業務改革やDXの推進を通じて生産性の向上を図り、ひいては自らのサステナブルな成長につなげていく計画です。その皮切りとして、2023年度にデジタル改革推進本部を設立し、SANKI DXビジョン『「知」の“Co-Creation Cycle（共創サイクル）”で全グループ社員が“Connected（つながる）”組織になる!』を掲げ、2024年1月には経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定されました。2024年度は情報システム室と統合してデジタル改革推進室とし、ITの運用管理と活用促進を実行する体制が整いました。今後は各部門の執行計画とも連動し、3つの重点施策「業務プロセス改革」「デジタル基盤の構築」「デジタル人財の育成・強化」を最初のマイルストーンとして具体的な取り組みを進めていく予定です。

Special Feature

02

DX認定



アイデアソン

重点施策 | 業務プロセス改革

従来の業務フローや役割などを一から構造的に見直し、業務プロセスの最適化・効率化を図るべく、まず建築設備事業における現状業務の棚卸を行い、業務プロセスマップに整理しました。また現状書類の改廃・標準化の検討を進めました。さらには拠点・部門別にアイデアソンを実施し、個別の業務課題についても洗い出しを進めました。

2024年度の予定施策

- 業務プロセスマップに基づく運用の試行開始（建築設備事業部門）
- 建築設備事業部門以外での事業部においても業務プロセス整理を実施
- 管理支援部門の業務改革を推進
- 不要書類の廃止、書式の統一・標準化を実施
- 業務データ保管ルールの運用開始

SANKI DX ビジョン
実現に向けたロードマップ

»2022年

STEP
01

- DX組織立ち上げ
- DXビジョン検討

2023年 » 2025年

STEP
02

- 業務プロセス改革
- デジタル基盤の構築
- デジタル人財の育成・強化

重点施策 | デジタル基盤の構築

現行の各種社内システムをあらためて点検し、各システムの役割分担を整理するとともに、新経理システムや営業支援システムの運用を開始しました。また、BIMを基盤とした業務フローや業務プロセスの構築に向けた検証を進め、技術計算のプロセス効率を大幅に向上させる新たなソリューション「BIM計算連携プラットフォーム」を開発しました。

ICT活用推進の施策としては、社内情報窓口「DX Portal」を開設し、DXに関する最新情報発信と社内連携を開始しました。またMicrosoft 365をはじめとする社内標準ツールの積極的な活用に向けた支援に着手しました。さらには、これらデジタル関連の施策を社内しっかりと根付かせるため、「DXマネージャー」という役割を各部門に配置。加えて、有志であるデジタルインフルエンサー^{*}の協力を得て、部門を横断しての連携をはじめました。デジタル関連の優れた取り組みは、デジタルコンテストを通じて表彰し、その成果を広く共有する体制を整えました。

^{*}「デジタル」活用を周囲の人へ伝え広める有志の集まり

2024年度の予定施策

- 現場書類作成支援システムの刷新
- 社内システム間データ連携の推進
- ICT関連情報発信と利活用支援の推進
- 生成AIの全社活用を開始
- 全社IT資産の運用管理および活用推進の体制刷新

デジタル
インフルエンサー
募集ポスター

2030年 »

NEXT
STAGE

2026年 » 2030年

STEP
03

- DXの実現
- さらなる成長
- 新たな基盤の活用
- デジタル人財の活躍
- ビジネススタイルの変革

重点施策 | デジタル人財の育成・強化

DXを通じたデジタル改革を継続的に推進・発展させていくために、これを担うデジタル人財の育成・強化を前提とした体制整備に着手しました。まず当社としての「デジタル人財」の位置づけやこれに相当するスキルレベルを整理した上で、具体的な施策に結び付けていきます。

2024年度の予定施策

- 新入社員研修のカリキュラムに「DX研修」を追加して実施
- 全従業員向けe-ラーニング（三機ITパスポート）を実施
- 発展的な自己学習希望者向けに学習ツールを配付
- 社内向けセミナー、ハンズオン研修など実践的な学習機会の創出



SANKI DXビジョン

SANKI DX ビジョン
https://www.sanki.co.jp/pdf/SANKI_DX_VISION.pdf